

インシュアテックイノベーション 連載第3弾

# AI-OCR活用から生成AI(ChatGPT)との共生まで⑧



陰山先生から宮古島の月桃エクソームを入手

アイリックコーポレーション(IRRC)フェロー  
保険・ヘルスケアDX担当 畔柳主税

## MIoTとAIの融合で

### 保険とヘルスケアはどう変わるのか？

本連載も最終回。本シリーズも最終回となるが、5月13日にOpen AIがGPT-4oをリリースして、AIがさらに人間らしくなった。今回は、AIのさらなる進化を踏まえた保険×ヘルスケアの未来予想図を描いてみる。

#### 生成AIやエクソソームが急激に普及

第2弾のインシュアテックイノベーション連載第8回(2023年1月18日付)で、ドクターコトから「人を観る」時代を先読み@宮古島を掲載した。そこに登場した陰山先生が、同年9月の「ほんまでっかTV」に出演。予防医学の最先端

のエクソソームを使った美容・治療の最先端を紹介した。その中で、身近に取れる植物エクソソームとして宮古島の生姜がアンチエイジングに良いと話したら、宮古島の生姜が消えた。AIは、人が作った世界の文書を機械学習することで、それなりの回答を数分で返す。また、この領域は、人間が時間を掛ければAIに勝てる。これが、IoTになると人間は勝てなくなる。その例が、自動車保険のテレマティクスだ。運転・車両データがIoTでつながり、AIが大

量データを随時解析する。その結果、事故の未然防止・納得感のある保険料、事故時の迅速な復旧につながる世界だ。旧にたつがる世界だ。たった1年で、生成AIやエクソソームなどが急激に普及した。今、人間の思考・視界の限界を超えて、社会を大きく変革しようとしている。

リアルタイム健康データを追跡するMIoT  
自動車保険のテレマティクスと同様のことが医療保険にも起きるのは間違いない。キーワードは、MIoT(Medical Internet of Things and Big Data in Healthcare)である。MIoTの導入で、健康指標を常時監視でき、顧客が自己管理する際のリアルタイム健康

データの新しい職種が登場し、健康データの解釈に優れた専門家がクライアレントの慢性疾患や食生活関連の疾患の予防、認知機能の向上、メンタルヘルスの改善に貢献するだろう。私自身も、宮古島で陰山先生の植物EV(エクソソーム)のマッチング

検査を受けた。私の血液の細胞をラボで培養して、6種の植物EVの中で最も免疫活性を高めるものや抗アレルギー作用のあるものを割り出す。私の場合、ムラサキモとの相性がよかった。具体的には、水素を吸って(引き算)、ムラサキモノのエクソソームを効率よく摂取する(足し算)。インドのお母さんが、家族の個性・体調に合わせて、スパイスを調合するアールヴエータの世界を科学的に再現したイメージだ。

MIoT、AI、予防医学で拡がる可能性  
さらに、MIoT、AI、予防医学を入れたヘルスケアの姿を描いてみる。寝起き・寝つきが悪い、ランチ後の眠気と疲れ、アレルギー症状、メタボなどの不調の原因を

データを利用する「住友生命「Vitality」」、血糖値データ利用は、ひまわり生命の「血糖コーチング」、日本生命の「血糖値変動チェックプラン」などが先駆けとなっているが、MIoT、AI、予防医学を入れたヘルスケアに展開していくだろう。

AI時代でも行動変容を促すのはやはり人  
こんなサービスが提供されたら、人間の仕事は不要になるのか？そんなことはない。もちろん、大量データを用いた健康状態の診断、パーソナルな健康プログラム作りは、人はAIには勝てない。一方で、行動変容を促すのはやはり人だ。診断結果を自分事として受け止め、前向きに健康増進に取り組むには、親身な人のサポートが必要なのだ。なかには、健康よりも目の前の仕事・遊びを優先したいという人もい



項目	結果	スコア	コメント
ミネラル	良好	85%	ミネラルバランスが整っています。
腸内環境	改善必要	60%	腸内環境の改善が推奨されます。
免疫活性	高	90%	免疫活性が高いです。
アレルギー	低	10%	アレルギー反応が低いです。

MIoTの世界と植物EVマッチング検査

データを追跡するデバイスなどが活躍する。これらのデバイスのビッグデータを活用すること、フィットネス、健康教育、症状の追跡・病管理、ケア調整をサポートできる。最終的には、「パーソナライズされた予防健康コーチ」として

探って、一人ひとりに合わせた健康プログラムを提供するパーソナルなヘルスケアサービスとなる。①体内ミネラルや有害重金属等の各種検査で、健康マップを作成②腸内細菌の状態を可視化し、デトックスと腸内環境の改善③体内血糖値の常時モニタリング④心拍変動や睡眠時無呼吸症の計測で睡眠力の向上⑤ファスティングと宮古島モリンガ・MCTオイル(C8)の摂取で、栄養素を維持しつつ、代謝をケトン体品質へ⑥血液と植物マッチングテストで、自分に合ったエクソソームサプリと水素ガスで身体を理想の健康状態を維持しな

る。そんな健康リスクが高い人には、適切な保険を提案することも保険営業では大切になる。本シリーズも最終回となるが、5月13日にChatGPTがさらに人間らしく進化したGPT-4oが登場した。人は、「○○さんだからこそ」と言われる世界で生かざるを得なくなる。まさに、保険のトップ営業の世界だ。より多くの頭脳労働をAIに任せ、自分の感性・直感・マインドを磨いていくことがより求められる。保険業界こそが、そんな時代をリードしてほしい、私自身も貢献したい。

【畔柳主税(あぜやなぎ・ちから)氏のプロフィール】  
静岡県富士市生まれ・東工大卒。石油会社のIT部門から2008年より保険業界向けのITソリューション・DXの企画・営業に携わる。持ち味は企業コラボ。  
(この連載おわり)

## パーソナル・ヘルスプランナー時代の到来を予見

静岡県富士市生まれ・東工大卒。石油会社のIT部門から2008年より保険業界向けのITソリューション・DXの企画・営業に携わる。持ち味は企業コラボ。  
(この連載おわり)